

やはり生徒たちには「世界に羽ばたける人材」に成長してもらいたいですからね。先生方もどのようにしたら生徒が伸びていくか常に考えていますし、学校側はそれをどんどん後押ししていきます。

—設備や行事以外に懸念していることはございますか？

先ほども問題として挙がりましたが、住宅街の中にある学校なので、近隣住民の方々のトラブル回避が課題です。

体育祭が長年再実施できなかった理由の一つに、騒音による苦情が挙げられます。住宅街に隣接している以上、やはり地域に好かれ、地域のために貢献出来る学校でなくてはなりません。

18年度卒業の人は知らないと思いますが、最近では和泉小学校の生徒と鶴高の生徒の交流が盛んになっています。じゃつぎ

遊びや、勉強を教えることは勿論ですが、部活動単位でも様々なお手伝いをしています。例えば、サッカー部がサッカーを指導したり、吹奏楽部が記念日に演奏をしたりします。学校からも、研究発表がしたいという要望に答え、多目的ホールを開放したりしました。

吹奏楽部といえば、杉並区の税務署のパレードにも参加させていただきました。

—在学中に野球部が通学路を清掃しているところをよく見かけましたが、部活動によって地域に根差した活動が活発ですね。

そうですね。その中でもやはり野球部の清掃活動は朝の7時前から行っていますし、通学路だけでなくグラウンドの周りも清掃しています。そのおかげで表彰もされました。

地域のために活動を行うこと

